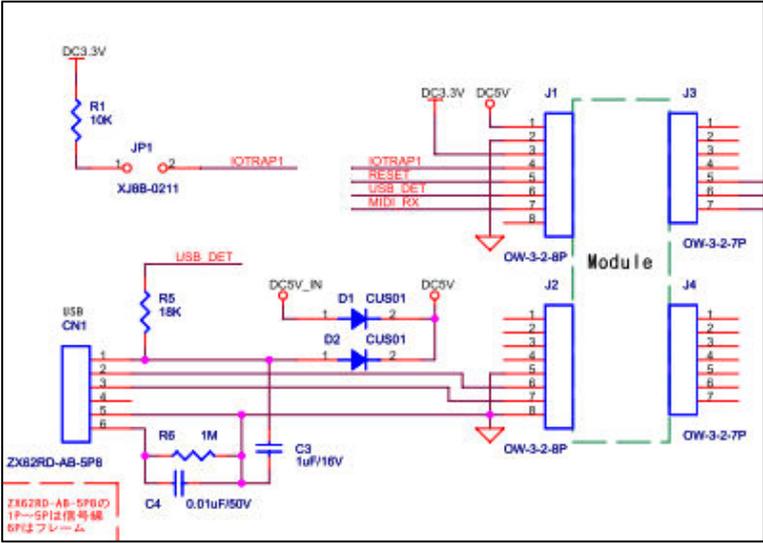


eVY1 ボード／モジュール アップデート

eVY1 ボード／モジュールをアップデートする方法を説明します。

eVY1 モジュールをお持ちの方は、以下の回路図のように USB 信号(DM,DP,VBUS,GND)と IOTRAP1 信号の結線をする必要があります。

(CN1-1 は VBUS、CN1-5 は GND)



eVY1モジュール基板端子表

コネクタ名	ピン番号	ピン名称	機能
J1	1	DC5V	DC5V入力
	2	DGND	デジタルGND
	3	V33IO	DC3.3V出力(IOTRAP1専用) ※1
	4	IOTRAP1	プログラム実行とSPI FLASHの書き込み切替 起動時OPEN : プログラム実行 起動時10KΩでDC3.3Vにプルアップ : SPI FLASHの書き込み
	5	RESET	デジタルGNDとの短絡でリセット
	6	USB_DET	USB検出 10KΩを介してUSBのバスパワーに接続する事によりUSBの挿抜を検出
	7	MIDI_IN	MIDI入力(DC3.3V)
	8	NOT USE	未使用
J2	1	LED1	LED1の点消灯出力 1mAで点灯するLEDを駆動 Hi: DC3.3V Low: 0V
	2	LED2	LED2の点消灯出力 1mAで点灯するLEDを駆動 Hi: DC3.3V Low: 0V
	3	LED3	LED3の点消灯出力 1mAで点灯するLEDを駆動 Hi: DC3.3V Low: 0V
	4	LED4	LED4の点消灯出力 1mAで点灯するLEDを駆動 Hi: DC3.3V Low: 0V
	5	DGND	デジタルGND
	6	USB_DM	USBのDM
	7	USB_DP	USBのDP
	8	DGND	デジタルGND
J3	1	NOT USE	未使用
	2	NOT USE	未使用
	3	NOT USE	未使用
	4	NOT USE	未使用
	5	AGND	アナログGND
	6	HPOUTL	ヘッドフォン Lチャンネル出力
	7	HPOUTR	ヘッドフォン Rチャンネル出力
J4	1	NOT USE	未使用
	2	NOT USE	未使用
	3	NOT USE	未使用
	4	NOT USE	未使用
	5	NOT USE	未使用
	6	NOT USE	未使用
	7	NOT USE	未使用

※1 : V33IOはIOTRAP1およびモジュール基板内部の使用に限定します。他の用途には使用しないでください。

以降、eVY1 ボードで説明していきます。

1. 添付ファイルの解凍

Windows パソコンの任意のフォルダに圧縮ファイルを解凍すると以下のように展開されます

¥任意フォルダ

└─¥eVoChecker

| └─eVoChecker.exe ・・・ 状態変更・確認ソフト

└─¥Updater

| └─¥Code

| └─¥conf

| └─¥Log

| └─¥StepDll

| └─eVoUpdater.exe ・・・ 書き込みソフト

| └ :

| └ :

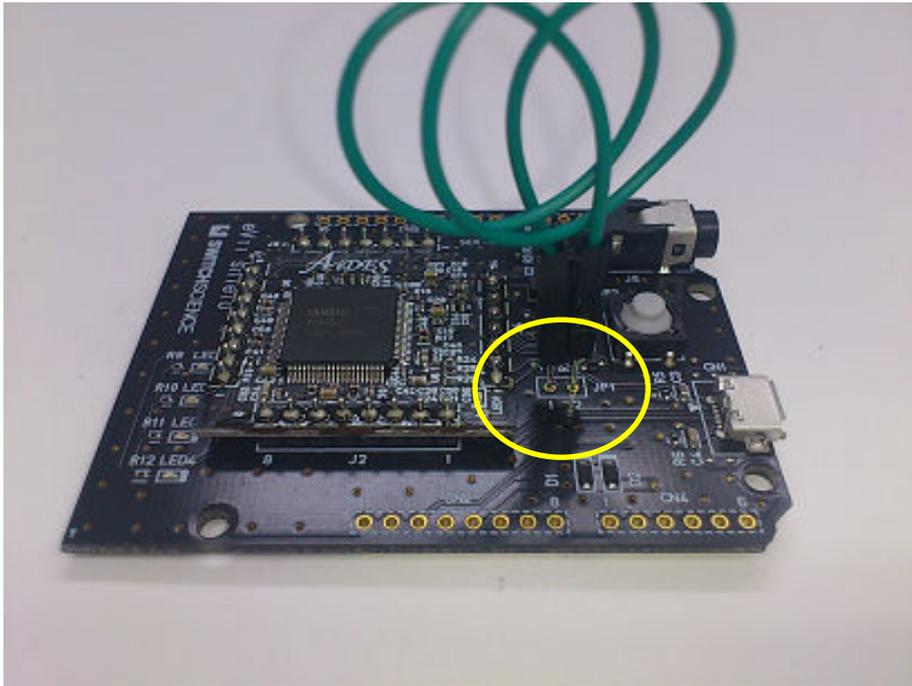
└─¥Readme

2. 書き込み準備

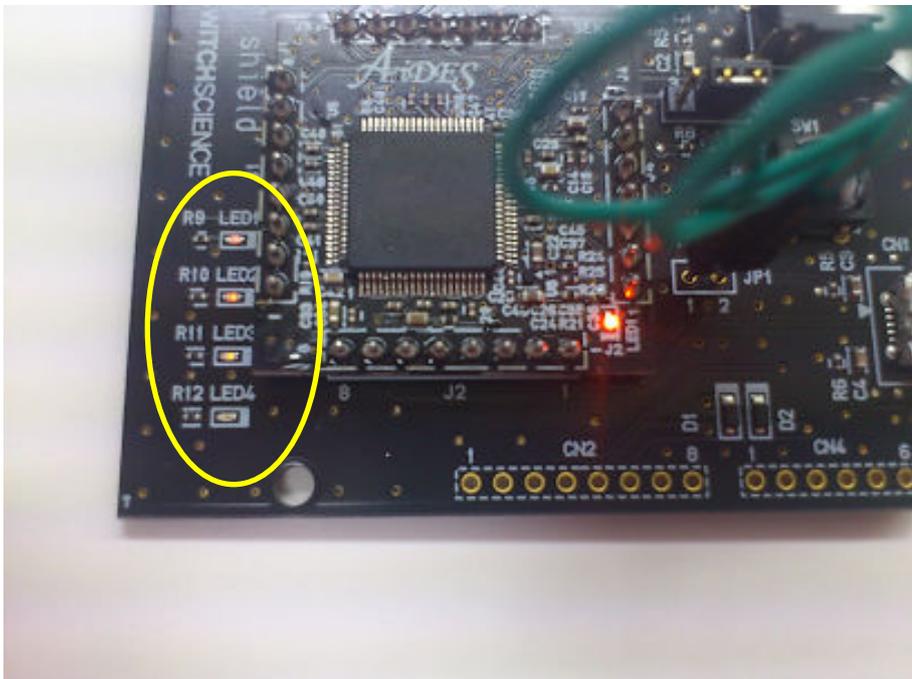
下の写真のような電線などで JP1 をショートします

ピンヘッダー+ジャンパーピンでも、電線をハンダ付けでも構いません





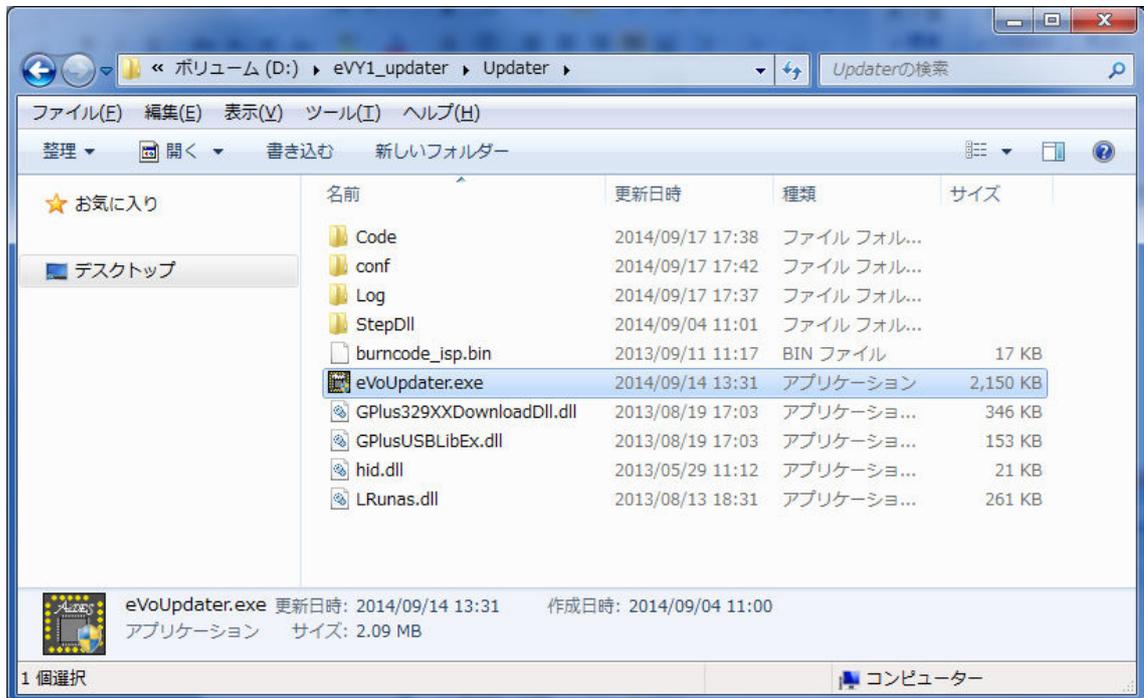
USB ケーブルを繋いで電源を投入します
LED1 から LED4 が薄く点灯します
(LED4 は点灯が見えないかもしれません)



3. 書き込みソフト

eVoUpdater.exe が書き換えソフトになります

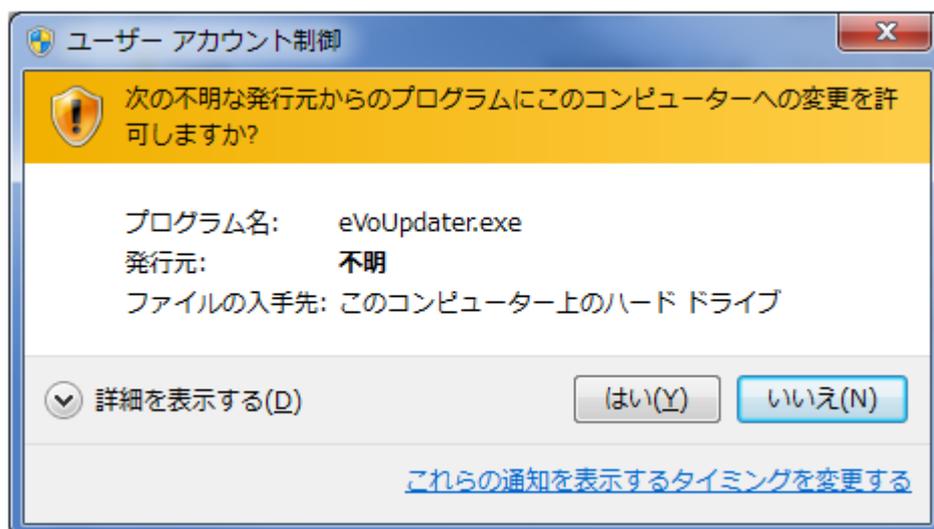
フォルダ構成、ファイルはそのままとしておいてください



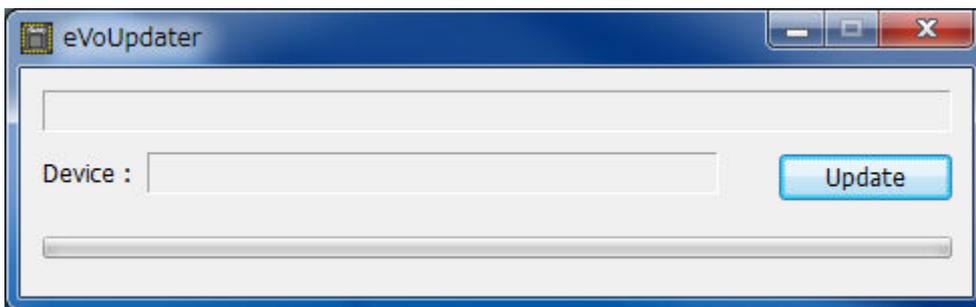
クリックして起動して下さい

書き込み作業

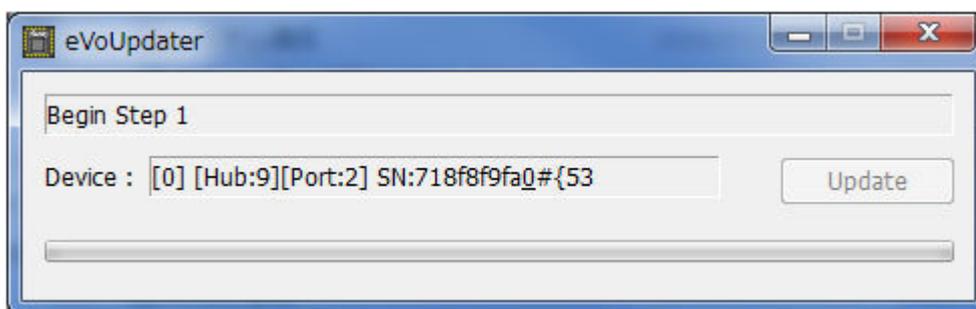
①途中、メッセージが表示されますが、「はい」、「OK」で進めてください



②起動する以下ようになります



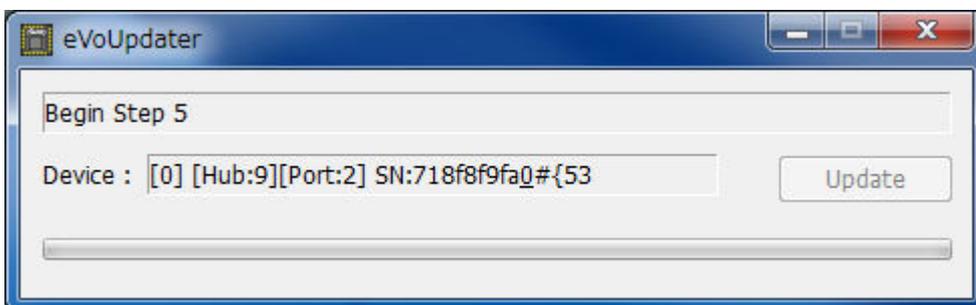
③[Update]ボタンを押して下さい
アップデートが開始されます
“Device”の表示は環境によって異なります



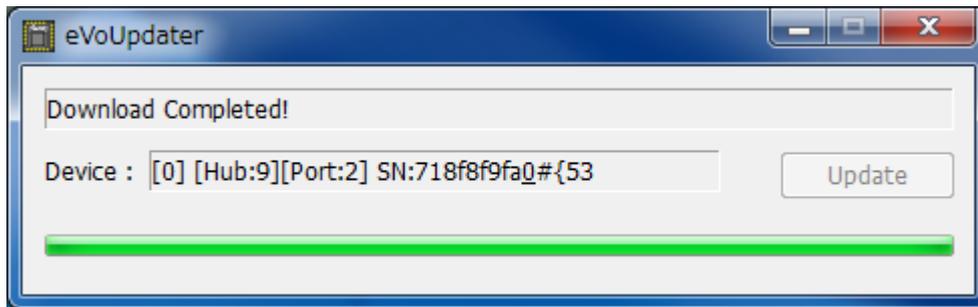
JP1 が正常にショートしていない場合は以下のエラーとなります



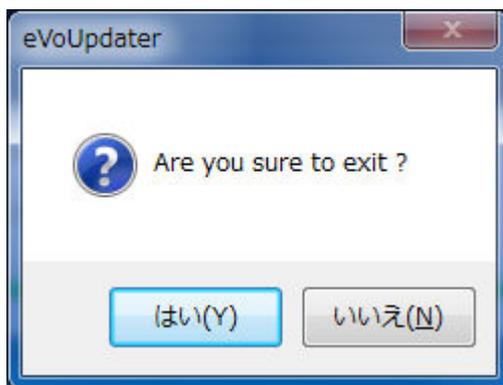
Step1 から順に進んでいきます



④書き込み終了



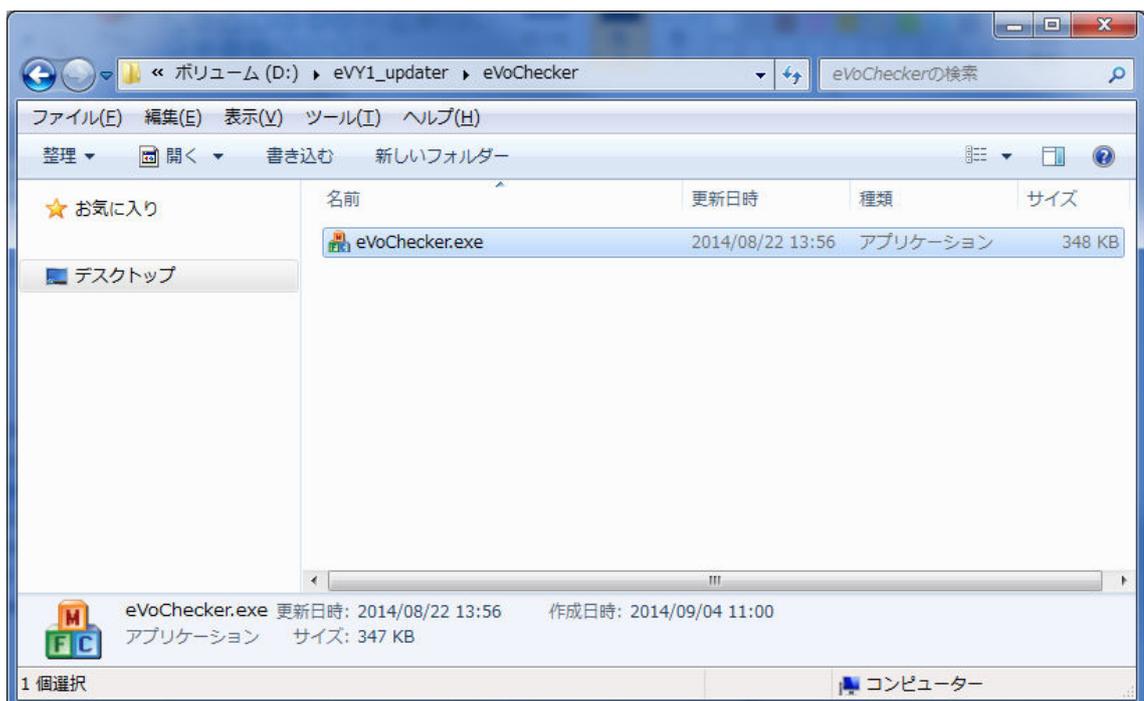
[X]ボタンを押して書き込みソフトを終了させてください [はい]を押して終了します



⑤JP1 をオープンにし、eVY1 ボードのリセットボタンを押すか USB ケーブルを接続しなおして再起動させてください

4. 状態変更・確認ソフト

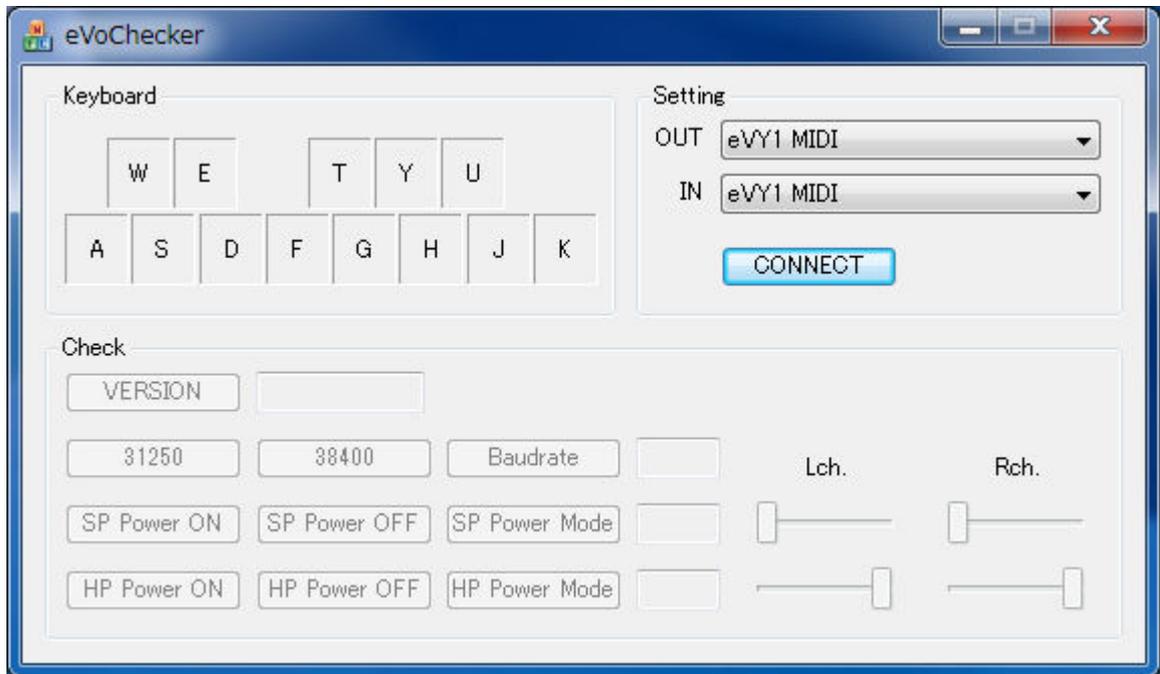
eVoChecker.exe が確認ソフトになります



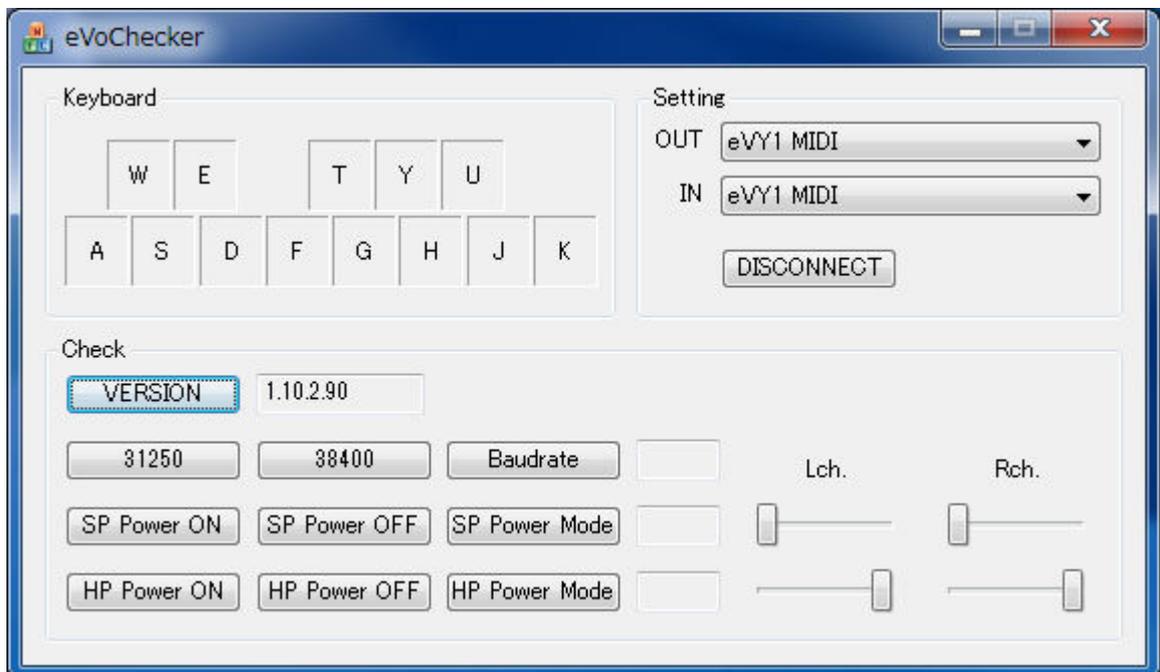
①確認ソフトを起動します

“Setting”で“eVY1 MIDI”を選択し[CONNECT]ボタンを押して下さい

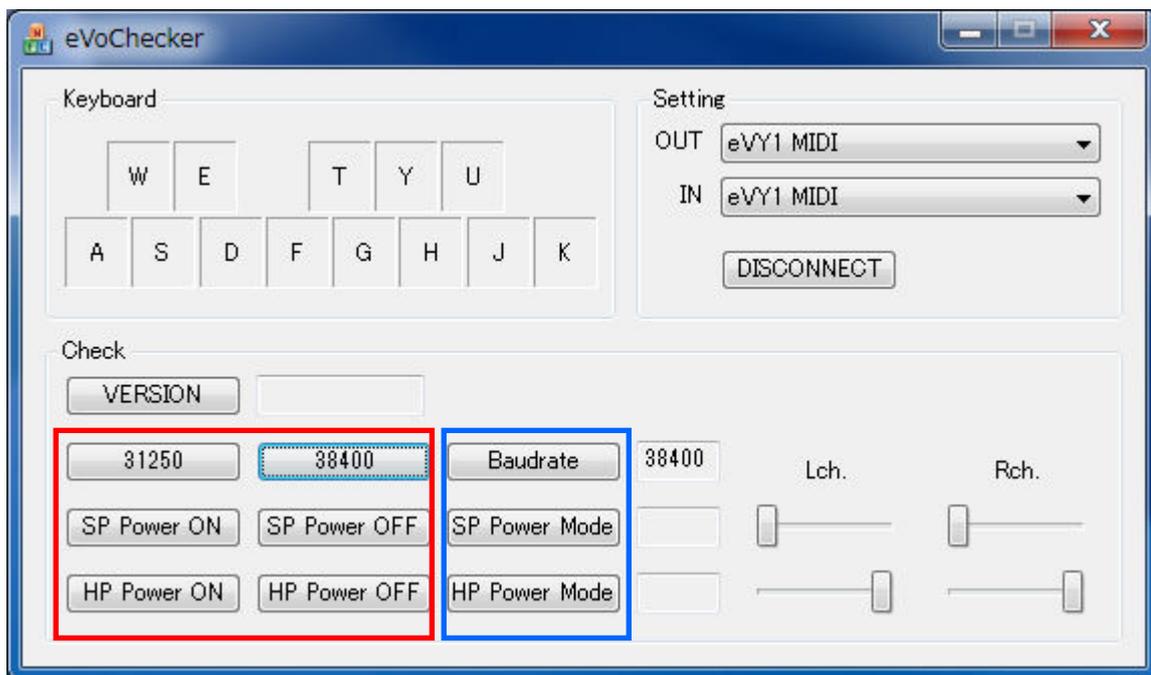
eVY1 ボード／モジュールは USB ケーブルで接続され起動している状態です



②[VERSION]ボタンを押して、バージョンを確認してください



③[38400]ボタンを押すとシリアル転送レートが 38400bps に変わります



赤枠のボタンは状態を変えるもので内部に状態を保存します

従って書き込みに数秒、時間を要します

青枠のボタンは現在の状態を表示するものです

Lch/Rch はスピーカー、ヘッドホンのボリューム値を変えるものです

Keyboard はパソコンの鍵盤に見立て、キーを押下すると発音します